

一握の砂 悲しき玩具



[一握の砂 悲しき玩具_下载链接1](#)

著者:[日] 石川啄木

出版者:岩波書店

出版时间:2001/06

装帧:单行本_精装

isbn:9784001145403

都会生活の哀歓、故郷への思い、流浪をかさねた北海道時代を歌いつづった「一握の砂」。26年の短い生涯の晩年の歌を集めた「悲しき玩具」。「一生に二度とかえってこないいのちの一秒」を愛した石川啄木の2歌集を収録。

作者介绍:

目录:

[一握の砂 悲しき玩具 下载链接1](#)

标签

石川啄木

日本

诗歌

詩歌

日本文学

poetry

诗集

日本語で

评论

“いのちなき砂のかなしさよ さらさらと 握れば指のあいだより落つ”

「たはむれに母を背負ひてそのあまり軽きに泣きて三步あゆまず」「わがこころけふもひそかに泣かむとす友みな己が道をあゆめり」「いくたびか死なむとしては死なざりしわが来しかたのをかしく悲し」。上課开小差讀得直掉眼淚，還好沒被發現。否則就要辯解，老師您的課太感人了==。10-24

好き。

短歌韵律不错，需要一点点古典文法基础。明明是很不愉快的情感我却总要笑出来实在太不好了…总之又是个不器用的，想看三姑的舞台剧

ただ一人の をとこの子なる我はかく育てり。父母もかなしかるらむ。

こんな純粋な人になりたい。

一位诗者敏感寂寞的心 在一握砂里 感到了。
世界没有那么黑暗，我还抱着一点点真心。

[一握の砂 悲しき玩具 下载链接1](#)

书评

[一握の砂 悲しき玩具 下载链接1](#)